

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成15年度～		根拠法令・例規等	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	施策	03	成人教育(企業・地域との連携)			
事務事業名		04	人材養成講座事業		問合先	担当課(室)	生涯学習課
					職・氏名	生涯学習係長	波多野 靖成
					電話	0869-64-1841	

事業の実施		対象(誰・何に対して)	地域で実施する生涯学習を通して、団体やグループ活動の指導者になっていただく市民。
目的(何のために)		目的	テーマを定めて、市における生涯学習推進の指導者を養成する。
行政活動(どのような方法で)		行政活動	地域あるいは各種団体や企業と連携して講師を招き、職員による啓発を織り交ぜながら講座を開催する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		意図する成果	平成22年度国民文化祭は、県下有数の「官民協働」の大会と言われるよう、ボランティアリーダーの養成を目指す。また講座への参加者数の増加も図る。今年度は休止し、21年度再開に向けて検討する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績											
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績					
	講座受講人数		人	90	98	(休止)					
事業費	直接事業費		千円	53	45	0					
	必要人員	人	千円	0.20人	1,770	0.03人					
	人件費			250	0.00人	0					
	事業費			1,823	295	0					
財源	国	県	支	出	金						
	受	益	者	負	担						
	線	入	金								
	市	債									
そ	他	()									
一	般	財	源		1,823	295					
受	益	者	負	担	比	率	%				
							0				
結果指標①	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績					
	講座受講人数		説明	人材養成講座受講人数							
	結果指標	量	人	90	98	(休止)					
	対前年	比	%		108.3%	-					
活動	コ	ス	ト	円	1,823,000	295,000					
単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	20,256	3,010	-
結果指標②	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績					
	講座受講人数		説明	人材養成講座受講人数							
	結果指標	量	人	90	98	(休止)					
	対前年	比	%		108.3%	-					
活動	コ	ス	ト	円	1,823,000	295,000					
単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	20,256	3,010	-

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 平成22年度開催の「国民文化祭・おかやま2010」ボランティア研修として、「全国生涯学習フェスティバル」で県下有数の100名近い応募者を得たH19年度に負けないぐらいの人数を集め、生涯学習にちなんだ講習や説明会を行う。参加者のニーズも把握しながら実施する。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明 H17団体、H19生涯学習フェスティバルで多くの理解者を得ている。	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 「国民文化祭の啓発は身近で大衆的なテーマから」を念頭に、備前焼にまつわる講習、花いっぱい運動、接遇研修など、職員の人脈をフルに生かした、低コストで内容のある講座実施に向け検討し、人件費コストも減少に向けてプランニングする。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 研修参加者が国民文化祭のボランティアで学んだ内容をいかに発揮していただけるかは、今後の地域での活動内容による。大会の啓発には実に有効な手段となる。

平成21年度の状況		目標値		結果指標量①		100		結果指標量②		成果指標量		100	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了						
	○												
説明	20年度は休止し、21年度再開する。予算は平成19年度並に押さえ、6月より募集開始。登録100人を目指す。												

総合評価		評価区分<A~E>	C	
「国民文化祭・おかやま2010」開催に向けてのボランティア研修を受けられた多くの方が、市内の団体やグループの学習活動の指導者になっていただくのが目標であり、大会終了後も引き続き文化振興の啓発を図る必要がある。21年度は年度当初より国民文化祭実行委員会と連携を図る。				

平成22年度以降の方向性・内容		方向性		拡充		現状継続		見直し		縮小		整理統合		休止		廃止・完了	
説明		21年度国民文化祭前年度に再び参加者を募り、22年度秋に一番盛り上がるよう、計画的な講習を行う。															
改善がある場合	評価の視点	改善内容				改善時期				改善により期待される効果							
	有効性	国民文化祭に向けての啓発にも参加していただく。				22年度				「視覚的效果」には投資、「口コミ的效果」には講座生と協働で参加者増につながる。							

事業の成果						
成果指標名		年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
講座受講人数	目標値(A)		100	100	(休止)	100
	実績値(B)		90	98	-	到達目標年度
	達成率(B/A)		90.0%	98.0%	-	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
ボランティアとして各種講座に参加いただいた人数						